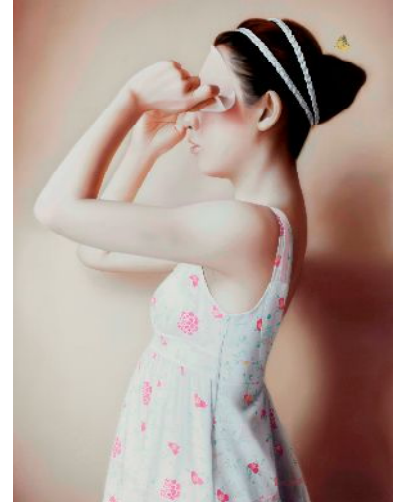
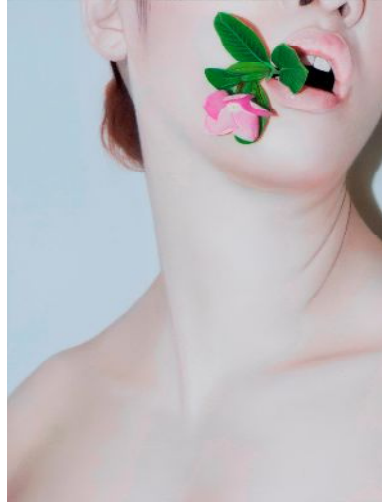


NEWS RELEASE

2014.8.27

ゆるぎない美、内なる力に魅せられていく 橋爪 彩 『Beautiful Stranger』

2014年9月27日(土)から開催



ポーラ ミュージアム アネックス(東京・中央区銀座)では橋爪 彩の大型個展「Beautiful Stranger」を2014年9月27日(土) から10月19日(日)まで開催します。

女性への賛辞に「しなやかさ」があるとすれば、橋爪 彩が描く女性たちの柔らかなたたずまいにひそむ、強靱な美がその意を体現している。なめらかな身体の曲線、繊細な指先、物憂いしぐさ。世紀を越えて西洋絵画の構図やモチーフを引用した独特な作品には、濃密な美しさが描き出される。25歳で渡欧しエトランゼとなって暮らした眼差し、帰国後に東京の街で感じた異邦人の眼差し。両方の視点を持った今、洋の東西を絵の具に混ぜて画布にアイデンティティーを根づかせている。

今回新たな取り組みとして、コスメブランド ポーラ『RED B.A(レッド ビー・エー)』とのタイアップを行い、その筆はさらに振起した。『RED B.A』のイメージに呼应した新作「RED SESSION」では艶やかな赤の画面から息をのむような官能が薫る。静謐でありながら鮮烈。登場人物は誰でもないけれど、誰でもありうる。彼女の絵画には現代女性が持つ、内なる美の力が脈動している。

|| 展覧会概要 ||

展覧会名：Beautiful Stranger

会 期：2014年9月27日(土) - 10月19日(日) [23日間] ※会期中無休

開館時間：11:00 - 20:00 (入場は19:30まで)

入 場 料：無料

会 場：ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル3階)

アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ / 東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分

JR 有楽町駅 京橋口から徒歩5分

主 催：株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス / 株式会社ポーラ

U R L：<http://www.po-holdings.co.jp/m-annex/>

【リリースに関するお問い合わせ】株式会社ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
info-annex@po-holdings.co.jp TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

POLA MUSEUM ANNEX

|| 作家コメント ||

25歳で本格的に欧州に住み始めた頃私は若く無知で娘盛りだった。

25年間東京で生まれ育ち、自分の外見や振る舞いに何一つ疑いなく揚々と新天地へ移り住んだものの、欧州人たちからしてみれば私は目の色肌の色・言語・文化背景、何もかも違うものをしょって突如自分たちの日常に現れた異邦人であった。

その土地の言語にいくら秀でていようとも、また十分な資金を持っての移住でも、異邦人としての生活は容易くない。

家を一步出れば女/子供/日本人である私に注がれる容赦ない視線や言葉に耐える日々の始まりである。

でも私は気付いていた。我々を異形視する彼らの瞳の中に見知らぬ者に対する憧憬が息をひそめて今にも飛び出さんとしている事実や、否定の中に見え隠れする肯定を。

知らないから怖い、自分と違うから排除したい、しかし分からないからこそ知りたい触れたい。

表立って異邦人の魅力を認める事は彼らの自尊心が許さなかったが魅力に惹き付けられ注意が外せないでいるのだ。

2006年、2010年、現在。

無知で無自覚なアジアの娘から、渡欧後世界の広さを自らの足で測り、帰国後はどちらもの視点を画布の上にしたためた。

東京の街に再び馴染んでいるかのように今の私は迷彩柄を着込んだ異邦人でもある。

どちらをも知った今は洋の東西を絵の具に混ぜ上げて画面に絵画としてそのアイデンティティーを定着させている。

橋爪 彩

|| プロフィール ||



1980年東京都生まれ。2006年東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻(油画)修士課程修了。2006年から2010年にかけて渡欧、文化庁芸術家在外研修員、ポーラ美術振興財団在外研修員としてドイツに滞在、吉野石膏美術振興財団在外研修員としてパリに滞在。主な展覧会に、2005年「αMプロジェクト vol.2」(artspace Kimura ASK?)、2006年「VOCA展」(上野の森美術館)、2012年「ポーラミュージアムアネックス展 2012 “華やぐ色彩”」(ポーラミュージアムアネックス)、2013年「DOMANI・明日展—未来を担う美術家たち〈文化庁芸術家在外研修の成果〉」(国立新美術館)、2014年「ノスタルジー&ファンタジー」(国立国際美術館)、「高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.04」(高松市美術館)など。2013年、第5回絹谷幸二賞受賞。主なコミッションワークに2012年“Esther”(POLA THE BEAUTY 銀座店)、また今秋、ポーラ最高峰ブランド「B.A.」のエントリーライン「RED B.A.」のメインビジュアルとして“RED SESSION”を制作。島田雅彦著『美しい魂』の他、書籍の装幀も多数手がける。

作品キャプション (1ページ目)

左 : 「RED SESSION」 パネルにエマルジョン地、油彩 2014年

中央 : 「Chloris」 パネル、油彩 2011年

右 : 「Esther」 パネル、油彩 2012年